

#### 安全上のご注意

\* この器具の取付工事は、電気工士の資格が必要です。必ず電気工事店に依頼してください。



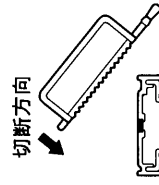
#### 警告 発熱、焼損、火災、感電の原因となります。

- 結線は適合電線の被ふくをゲージに合わせてむき、確実に奥まで差し込んでください。
- 定格電圧、定格電流を超えての施工や使用はしないでください。
- 屋内専用です。周囲温度が40℃以下の場所でご使用ください。暖房器具の近く、水のかかる場所、油などの付着しやしやすい場所、湿気の多い場所、粉塵、硫化水素、アンモニアガスなどの腐食性ガスのある場所等には取付けないでください。
- 天井、壁面取付け専用です。レールの開口部を上向きに取付けないでください。壁面や傾斜天井に取付ける場合は、人が容易に触れるおそれのない場所(例: 1.8m以上の場所)に施設し、レールカバー(別売)を取付けてください。
- 接地極付ライティングレール本体の取付穴部には、プラグや照明器具を取付けないでください。接地極への接続ができません。
- 本体とフィードインキャップ、ジョイント類の接続は確実に行ってください。
- 必ず接地工事を行ってください。
- 商品を改造しないでください。



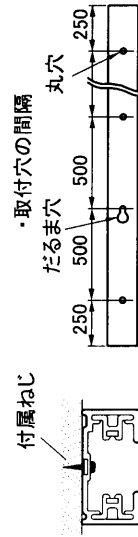
#### 注意 発熱、焼損、火災、感電、落下の原因となります。

- 終端部には、必ずエンドキャップを取付けてください。
- レールを切断する場合は、手のごそごそを使用してください。電動工具をご使用になりませんと絶縁樹脂が溶けることがあります。
- 切断後はカエリ、切粉などを取り除いてください。
- 接地極付レールで、切断時に接地極の浮き上がりが生じた場合は、修正してご使用ください。
- 吊り下げ器具やパイプ吊りのレールは、エアコンなどの吹出し口の近くには取付けないでください。(器具やレールが振れるおそれがあります。)
- 適合部品、適合照明器具以外の取付けはしないでください。
- ライティングレールV形とライティングレールV形のレール及びジョイント類の互換性はありせん。



#### ■ 本体の取付方法

- 直付の場合
  - 付属のタツピンねじを使用して天井面の野縁などしっかりと取付けてください。
  - 取付穴の間隔は下図のように端部から250mm、中間部は500mmです。
- 埋込の場合
  - 別売の埋込枠 (DR0260N(W)(K)(S)) をご使用ください。
  - フィードインキャップ (DR0261N(W)(K)(S))、エンドキャップ (DR0262N(W)(K)(S)) は埋込専用です。

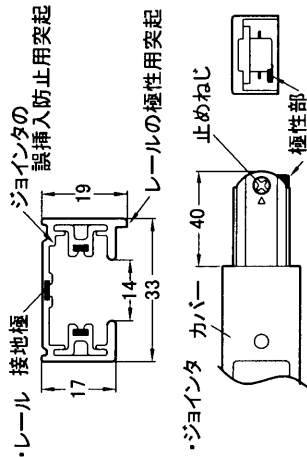


#### ■ レールへの給電及び電線接続と回路の分割

- レールへの給電は、フィードインキャップ、各種ジョイント類(ミニジョイント、フレキシブルジョイントを除く)から行うことができます。
- 電線の接続は、ストリップゲージ12mm(10~14mm)に合わせ被ふくをむき、端子に確実に奥まで差し込んでください。
- 電源用端子は、φ1.6mm、φ2.0mmの銅単線専用です。より線には絶縁付棒状圧着端子(DC9300)をご使用ください。
- 電源の接続は、レール本体の極性用突起側(凸部側)を必ず接地側としてください。
- 接地線の接続は、ジョイントの接地端子(⊕表示部)に巻締め接続または、圧着端子を使用して接続してください。
- ジョイント部で回路を分割する場合は、内部の電線を端子からはずしてご使用ください。電線のリリースは、リリースボタンを押しながら電線を引き抜いてください。

#### ■ 本体とジョイントの接続方法

- レール相互を接続する際は、レール本体の極性を合わせてください。
- 本体とジョイント(ミニジョイントを除く)を接続する際は、極性を合わせてください。
- ジョイントをレールに差し込み、止めねじを確実に締めてください。接地極付レールは、この止めねじでレール相互の接地極接続を行います。給電をしないで接続のみの場合は、カバーを外す必要はありません。



ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買いあげ販売店(工事店)にご相談ください。  
 なお、ご相談されるときは器具の形名及びお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

この施工説明書は、お読みになったあとにも必ず保管してください。